

100万人アンケート

# 子育てについて 皆さんに聞きました



「子育て」に関するアンケート調査からは、これまで公明党が取り組んできた「教育負担の軽減」の必要性があらためて浮きぼりになるなど、さまざまなニーズが明らかになりました。

## 1 教育費の負担に不安、さらに軽減を

「将来の進学などの費用が不安」(46.7%)や「現在の授業料・保育料などの負担が重い」(13.7%)などを合わせると、74%が学費など“教育費の負担”に不安や悩みを抱えていることがわかりました。

Q 子育てについて  
悩んだり不安に思うこと  
**経済的な負担**

**74%が  
学費などへの  
不安や悩み**

3.2% 制服や通学用品(かばん・校章・体操着等)の購入や買い替え費用の負担が重い

10.4% 学習塾・家庭教師・習い事などの費用負担が重い

46.7% 将来の進学などの費用が不安

13.7% 現在の授業料・保育料などの負担が重い

その他の回答

住居費など生活費の負担が重い 12.3%

特に感じていない 13.8%

公明党の取り組み

幼児教育の無償化や私立高校授業料の  
実質無償化(年収590万円まで対象)、  
大学など高等教育の無償化や給付型奨学金の拡充といった  
“教育費用の負担軽減”を強力に推進しており、  
公明党の従来からの主張が具体的な形になりました。

## 2 “柔軟な働き方”の推進を

「今は働いていないが、今後働きたい」(16.5%)、「労働時間が長すぎる」(13.3%)の回答があり、さらに「時間単位で休暇を取りたい」(8.7%)、「テレワークなどで在宅勤務がしたい」(4.8%)など、“柔軟な働き方”を求める声が寄せられています。

Q 子育てについて  
悩んだり不安に思うこと  
**子育てと仕事の両立**

“柔軟な働き方”  
を求める声

16.5% 今は働いていないが、  
今後働きたい

13.3% 労働時間が長すぎる

8.7% 時間単位で  
休暇を取りたい

4.8% テレワークなどで  
在宅勤務がしたい

公明党の取り組み

子育てと仕事を両立しやすいよう、  
働き方改革を推進し、テレワーク  
といった時間や場所にとらわれない  
働き方や、短時間勤務の導入な  
どに取り組んでいます。

その他の回答 保育所などへ預けられない 5.3% 学童などへ預けられない 3.7% 育休からの仕事への復帰が不安 3.9%  
育休が取れない 3.8% 特にない 39.9%

## 3 保護者と子どもに寄り添う支援を

「進学など子どもの将来」(43.6%)、「いじめや学校生活での友人関係」(18.7%)など、約85%の人が何らかの心配を抱えています。保護者と子どもに寄り添う“きめ細かな支援”の充実が不可欠となっています。

Q 子育てについて  
悩んだり不安に思うこと  
**親としての心配事**

**きめ細かな  
支援の  
充実を!**

14.9% 進学など子どもの将来

18.7% いじめや学校生活での友人関係

10.8% 子どもの病気・発育状況が心配

10.0% 子育て方法やしつけ

2.0% 相談できる相手が身近にいない

特に心配事はない

公明党の取り組み

妊娠期から子育て期まで、  
保護者と子どもを切れ目なく支援する  
「子育て世代包括支援センター」の設置を  
進めており、また、いじめなどを相談しやすいよう、  
スクールカウンセラーやSNSを活用した  
相談体制の拡充を推進しています。